

# 街の発展を支えてきた 公共交通の変遷を振り返ろう

# 札幌の歴史 あれこれ No.06

【市民の生活に欠かせない市営交通の歴史】  
今や197万人以上が暮らす街へと発展した札幌。ここでは、これまでの札幌の歩みを、さまざまな角度から見ていきます。  
問い合わせ 広報課 ☎(21)2036

1909ころ

## 市電の前身となる馬車鉄道が開通

石切山から石材などを運ぶため、市電の生みの親である助川貞二郎らが共同で札幌石材馬車鉄道合資会社を設立。線路を設置し、1909(明治42)年に石山札幌間で馬車鉄道の試運転を始めた。1912(大正元)年には、札幌停車場(現在の札幌駅)から中島公園間など、主要地域に路線を広げた。



▲札幌停車場通りを走る馬車鉄道

1918から

## 路面電車の運行を開始



▲路面電車開通時の電動客車

札幌電気軌道株式会社(1916(大正5)年に社名変更)は、1918(大正7)年開催の北海道大博覧会に向けて、馬車鉄道から路面電車への切り替えに着手。1918年8月に、南1条線など3路線で運行を始めた。その後の人口増加に伴い、路線が増えた路面電車事業を市が買い取り、1927(昭和2)年に市営交通事業が発足した。

1964ころ

## 路面電車・バスの活躍

線路なしで走行でき、経済性が高いことから、市は1930(昭和5)年にバス事業を開始。1964(昭和39)年には利用者数が路面電車とともに年間1億人を突破した。路面電車に比べてスピードや輸送能力に優れたバスは、同年初めて路面電車の利用者数を上回った。



▲1960(昭和35)年の札幌駅前バスターミナル

1971から

## 地下鉄の開業と 路面電車の縮小

札幌オリンピック前年の1971(昭和46)年、地下鉄が開業。一方で、9路線あった路面電車は1974(昭和49)年に1路線まで減少した。

### ■地下鉄の開業・延長

	開業	延長
南北線	昭和46年12月 北24条～真駒内	昭和53年3月 北24条～麻生
東西線	昭和51年6月 琴似～白石	昭和57年3月 白石～新さっぽろ 平成11年2月 琴似～宮の沢
東豊線	昭和63年12月 栄町～豊水すすきの	平成6年10月 豊水すすきの～福住

2004から現在

## 市営バスの廃止・ 路面電車のループ化



▲西4丁目とすすきの停留場を結び、間に狸小路停留場を新設した

利用者数の減少などによる厳しい経営状況から、2004(平成16)年までに全バス路線を民間事業者へ移行。路面電車は廃止も検討されたが、市民の意見を踏まえて、2015(平成27)年に路線のループ化を実施した。